

伊丹市・ミマモルメ 「まちなかミマモルメ」に新機能を追加！ 普段行かない場所で検知したことを通知します ～新学期に向けて、保護者のさらなる「あんしん」を実現～

伊丹市（市長：藤原 保幸）と阪急阪神ホールディングスグループの株式会社ミマモルメ（本社：大阪市福島区、社長：藤井 啓詳、以下「ミマモルメ」）は、2016年3月から伊丹市内各所の電柱など（約1,200か所）に設置する安全・安心見守りカメラにビーコン受信器を取り付けることで、ビーコンの発信器（タグ）を持った子どもや高齢者がその付近を通過すると、家族や保護者に通過時間などをお知らせする見守りサービス「まちなかミマモルメ」を、伊丹市民向けに提供してきました。

このたび、新たにお子さまや高齢のご家族が想定外の場所にいることをいち早く把握できる「普段行かない場所での検知通知機能」を追加することで、さらなる「あんしん」を実現します。



1. 機能追加

新機能では、普段行かない場所の受信器で子どもや高齢者が持つビーコンの発信器（タグ）を検知した際に、保護者やご家族のスマートフォンアプリへアラート通知を行います。プッシュ通知に加え、通過履歴個別一覧のアイコンの色（通常「ブルー」、アラート「オレンジ」）を変えて表示することにより、子どもや高齢者がいつもと違う行動をとった際に、いち早く気づくことができ、捜索など早期の対応が可能となります。

2. 提供開始日

2025年3月27日（木）予定

※伊丹市のユーザーに先行して提供を開始し、順次、ほかの地域へも展開します。

【保護者アプリ画面】



【株式会社ミマモルメの概要】

本 社 大阪市福島区福島3丁目14番24号

資 本 金 1億円（阪神電気鉄道株式会社100%出資）

設 立 2017年8月

代 表 者 代表取締役 藤井 啓詳

事 業 内 容 あんしん事業（ミマモルメ）・教育事業（プログラボ）

ホームページ ミマモルメ <https://www.hanshin-anshin.jp/>
プログラボ <https://www.proglab.education/>

別紙

参考 「まちなかミマモルメ」の概要 <https://www.hanshin-anshin.jp/machinaka/>

まちなかに設置されたカメラとビーコンのインフラ網を利用し、お子さまや高齢者を見守ります。

【特徴】

- ① ビーコンの発信器（タグ）を持ったご家族が、設置されたビーコン受信器付近を通過するとアプリ・メールでお知らせします。また、すべての受信器またはミマモルメ推奨（学校や公園、駅付近等）からの通知の有無を設定できます。
- ② 一般的なビーコンの発信器（タグ）のセキュリティの脆弱性を解消した独自セキュリティを組み込んでおりますので、安心してご利用いただけるのが最大の特長です。

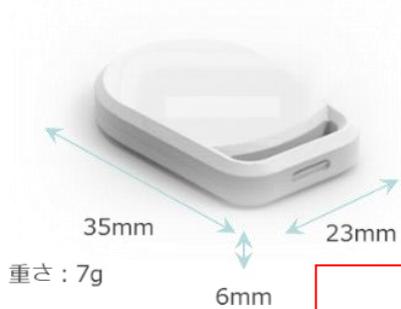


登下校メール（導入校：約1,900校、約31万人が利用）のノウハウを活かし、校門だけでなく「まちなか」に利用シーンを展開させたものが「まちなかミマモルメ」です。アプリによる検知箇所の通過履歴の閲覧やプッシュ通知によりお子さまや高齢者の居場所を把握することができます。BLE（Bluetooth Low Energy）を用いていますので、スマホでも読取り可能で、各自治体でのボランティア活動にもご利用いただけます。

また、その利用の簡便性が故に存在するBLEのセキュリティの脆弱性に対して、みまもりに利用するための独自セキュリティを組み込んでおり、安心してご利用いただけるのが「まちなかミマモルメ」の最大の特長です。

2016年3月に兵庫県伊丹市、同年4月に京都府長岡京市、2017年9月に大阪府大東市、2018年4月に兵庫県加古川市、2020年4月に三重県木曾岬町、2023年4月に奈良県三郷町に導入、2025年4月には兵庫県播磨町で導入いただく予定です。

●発信器



小型・軽量
独自セキュリティ組み込み

●受信器



万が一ご家族が迷子になられた場合は、迷子の方の情報をボランティアへ送信し、捜索に協力のお願いができます。

一般ボランティア

協力要請があった場合受の登録信機として捜索に参加します。
アプリをダウンロードすることで一般ボランティアになることができます。

登録ボランティア

事前に自治体等への登録が必要になります。
協力要請があった場合受信器として捜索に参加します。
迷子の方の情報を受け取ることができ、迷子の方の発信器を受信した場合は、協力要請者へ電話でお知らせすることができます。（※1）

登録ボランティアを利用する場合は、ID/パスワードが必要になります。

（※1）協力要請者が電話番号を公開した場合

